

令和5年度 第2回幕別町社会教育委員会報告書

1 日 時 令和5年7月12日(水) 午後3時～午後4時30分

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

- (1) 委員10人(小島委員、新倉委員、三井委員、新保委員、井原委員欠席)
- (2) 教育委員会
石田生涯学習課長、勝又社会教育係長、大澤社会体育係長、有田主査

4 会議次第

- (1) 委員長あいさつ
⇒原田委員長の挨拶
- (2) 第6次生涯学習中期計画の概要について
⇒社会教育係長から第6次中期計画の概要を説明。(第6次計画書参照)

○質疑等なし。

- (3) 部会長の選出について
⇒部会ごとに協議し選出。
社会教育部会長に原田委員、社会体育部会長に高道委員、学校教育部会長に森委員、生涯学習推進部会に原田委員が選出され、承認された。
- (4) 第7次生涯学習中期計画案の策定方針について
⇒社会教育係長から概要説明(議案P2参照)。

○質疑

- ・今回計画を策定するにあたり、前回の計画との関係性はどのようなものになるのか。全く新しいものとして策定するのか。
⇒前回の計画をベースにし、5年前から取り巻く情勢等の変化があったので、その変化に応じて内容を更新するもの。
- ・今回の計画を策定で、現在の情勢を把握する手法はどのようなものか。
⇒前回の策定の際にもアンケート調査を実施しており、今回もアンケート調査をすることを想定している。
- ・アンケート調査の内容はどのような内容のものか。
⇒基本的には前回のアンケートをベースに考えているが、情勢の変化に応じた新たな項目を加えることも考えている。
- ・アンケート調査の結果はどのように取り扱われるのか。
⇒アンケート調査結果は、今回策定する計画の内容に反映させるとともに、調査結果を計画に掲載する事と、前回のアンケート調査結果と今回の結果を比較することも考えている。
- ・前回のアンケート調査と比較するのであれば、前回のアンケートの内容からを変更したら比較はできなくなるのではないか。
⇒基本的には前回のアンケート調査をベースとするが、5年前から情勢も変化しており現在には合わない質問項目を削除するとともに、この5年間で新たに生まれた価値観等に関してアンケート項目を追加することを考えている。前回と同じ質問項目は前回調査と比較し、新たに追加する質問項目は比較できないので、そのアンケート結果を考察することを考えている。

(5) 部会協議

- ・アンケート調査項目について
⇒社会教育係長から説明（議案P 3、前回アンケート調査表 参照）後、各部会に分かれて協議。

○意見

「9～17歳」

- ・全体的に表現が固いので、表現を改めた方が良いのではないかと。
⇒わかりやすい表現を検討する。
- ・スポーツの分野では、「問 13 あなたは、現在、何かスポーツをやっていますか？」とあるが、スポーツ以外にも習い事等をやっているかどうか、追加しても良いのではないかと。
⇒設問を検討する。
- ・「問 5 あなたが自由に使える時間は次のどれですか」の「自由に使える時間」という表現はあいまいで分かりにくいのではないかと。
⇒分かりやすい表現を検討する。
- ・問 14 で、スポーツをやっていない理由を聞いており、回答項目に「9. 家族の協力が得られない」とあるが、どのような協力があればスポーツに取り組めるかを聞いてみたらいいのではないかと。
⇒設問を検討する。
- ・「問 18 あなたが普段、学校や家庭で困っていることはありますか？」という設問は、生涯学習中期計画策定のための設問として相応しくないのではないかと。
⇒内容を検討する。

「18歳以上」

- ・「問 6 あなたが自由に使える時間帯は主に次のどれですか」の「自由に使える時間」という表現はあいまいで分かりにくいのではないかと。
⇒分かりやすい表現を検討する。
- ・問 7 及び問 8 の回答項目「12. 自治会、子ども会などの地域活動」は、回答項目として適当ではないのではないかと。
⇒内容を検討する。
- ・「問 21 高等学校の生徒に規範意識の低下や、コミュニケーション能力の欠如を感じることはありますか。」とあるが、「高等学校の生徒」と限定することに違和感がある。
⇒内容を検討する。
- ・問 25 で、運動やスポーツをやっていない理由を聞いており、回答項目に「9. 家族の協力が得られない」とあるが、どのような協力があればスポーツに取り組めるかを聞いてみたらいいのではないかと。
⇒設問を検討する。

※提案いただいた内容を事務局で編集し、次回会議において報告する。

(6) その他

- ・第 6 次計画事務事業評価について
⇒社会教育係長から評価方法について説明。（議案P 4、第 6 次計画評価表参照）
次回会議で、各委員において担当部会の項目を各自評価していただき、評価の部会協議を行うこととする。
- ・次回会議開催日程
⇒8月下旬から9月上旬ころを目途に開催日を調整する。
※部会ごとに事務事業評価について協議・取りまとめを行う予定。委員からの質問等に対応するため、関係係長等に説明員として各部会へ入ってもらうこととする。